

## 会 議 録

### 1 会議名

令和7年度 第8回中郷区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### （1）報告（公開）

なし

#### （2）協議（公開）

- ・新たな自主的審議事項「い～住プロジェクト」について
- ・諮問第69号 上越市過疎地域持続的発展計画（案）について
- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・その他

### 3 開催日時

令和7年11月26日（水） 午後6時から午後7時45分まで

### 4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

### 5 傍聴人の数

報道0名 傍聴6名

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内会長、陸川副会長、岡田委員、尾崎委員、桐山委員、高橋委員、竹内委員、松岡委員、村越委員、陸川委員、欠席1名
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、金井次長、朝日市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼任）、桐山地域振興班長、更山地域振興班主事、近藤総務班長、早川税・市民生活班長、平原教育・文化班長
- ・上越市創造行政研究所：藤山所長、渡来副所長、柳澤上席研究員、丸山主任

## 8 発言の内容（要旨）

### 【桐山班長】

上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【竹内会長】

第 8 回中郷区地域協議会を開催する。

会議録の確認を桐山委員、竹内委員に依頼。

中郷区の取組として、令和 4 年度に実施した全世帯アンケートの結果を基に地域協議会で検討を行い、「子どもの い～場所開設事業」やコミュニティバス「さくら号」の運行などの事業を実現している。今後の新たな取組として桐山委員から提案のあった「い～住プロジェクト」について検討を行っている。中郷区の若者の定住や移住者の呼び込みについて検討・事業化していくことを見据えて、本日は上越市創造行政研究所からサポートいただきながらワークショップを開催する。ヤングチームとベテランチームに分けてワークショップを行う。ヤングチームの斬新な考えをベテランチームの知識や経験で守るという構成になっている。先日、高橋委員からの提案で意見交換会を実施し、委員全体の士気が高まっている状態。活発な意見交換ができるとよい。

## ～第 1 回まちづくりワークショップ～（進行：上越市創造行政研究所）

### 1. あいさつ（柳澤上席研究員）

上越市創造行政研究所では、令和 5 年度から地区別に持続可能なまちづくりを考える取組を実施している。令和 6 年度には大島区・浦川原区・安塚区で、令和 7 年度は板倉区でワークショップを開催している。

中郷区では、本日も 12 月、1 月と 3 回のワークショップを実施する。本日は藤山所長からの講義の後、他地区では実施していない人口シミュレーションを行う。

### 2. 講義（藤山所長）

藤山所長作成のパワーポイントを基に説明。

### 3. グループワーク（3 チーム）

- ・ 20 代～30 代前半で人口流出超過となる背景について検討
- ・ 人口シミュレーションから「30 代前半夫婦+子ども世帯」「20 代前半男女世帯」「60 代前半夫婦（定年退職者）世帯」それぞれの定住増加の目標値を設定
- ・ 目標達成に向けた重点取組の検討

【ヤングチーム】 陸川副会長、岡田委員、尾崎委員、桐山委員、松岡委員、  
村越委員

【ベテランチーム】 竹内会長、高橋委員、竹内委員、陸川委員

【総合事務所チーム】 金井次長、朝日 G 長、早川班長、近藤班長、平原班長

#### 4. 発表

【ヤングチーム】（発表：桐山委員、陸川副会長）

●20 代～30 代前半で人口流出超過となる背景について

- ・若者が働きたいと思える職種の就職先が少ない。
- ・コミュニケーションの場が不足している。仕事終わりに飲んで帰るなど飲食店が充実していない。飲み会後の交通の利便性がない。
- ・家を建てる際、土地は安いですが雪対策にお金がかかり、都市部と比較しても優位とはいえない。

●定住増加の目標値

- ・30 代前半夫婦+子ども世帯：2 世帯
- ・20 代前半男女世帯：1 世帯
- ・60 代前半夫婦（定年退職者）世帯：1 世帯

●目標達成に向けた重点取組

- ・特色のある教育の実現（例えば、小中学校の統合、金銭面の援助など）
- ・就職先の確保
- ・趣味に打ち込める環境整備
- ・空き家の活用

【ベテランチーム】（発表：高橋委員）

●20 代～30 代前半で人口流出超過となる背景について

- ・20 代は進学を機に市外に出てしまう。自分が望む就職先がないため、地元には戻ってこない。
- ・30 代は結婚を機に中郷区から雪の少ない都市部へ出てしまう。

●定住増加の目標値

- ・30 代前半夫婦+子ども世帯：2 世帯
- ・20 代前半男女世帯：3 世帯

- ・ 60 代前半夫婦（定年退職者）世帯：1 世帯

●目標達成に向けた重点取組

- ・ 自然豊かな環境で子育てできることを P R
- ・ 就職先・交通・雪対策の情報を発信
- ・ 農業の担い手（30 代）の呼び込み

【総合事務所チーム】（発表：近藤班長、金井次長）

●20 代～30 代前半で人口流出超過となる背景について

- ・ 進学で市外に出た後、進学先の地域で就職や結婚等を機に住所を異動する。
- ・ 結婚を機に、2 人の世界をつくるため、安価なアパート（旧新井市や合併前上越市）に引っ越す。その後、子育てに困っても実家が近く、助けを得やすいため、地元に戻る必要がなくなる。
- ・ 子どもが小学生になるタイミングで共働きをするために、職場へ通いやすい場所へ引っ越す。

●定住増加の目標値

- ・ 30 代前半夫婦+子ども世帯：3 世帯
- ・ 20 代前半男女世帯：3 世帯
- ・ 60 代前半夫婦（定年退職者）世帯：1 世帯

【藤山所長】

講評とまとめの後、次回のワークショップについて説明。

～協議～

【竹内会長】

「い～住プロジェクト」については、数値目標を立て、シミュレーションしていくことで 次回のワークショップでも活発な意見交換を行えるとよい。さとまる学校として、空き家相談窓口事業を実施しているが、空き家の賃貸物件の紹介や商店街の空き店舗の活用などもできればよいと思った。

上越市創造行政研究所はここで退席とする。

協議に移る。諮問第 69 号上越市過疎地域持続的発展計画（案）について、事前に資料の配布があったが、意見等はないか。（なし）「中郷区の住民の生活に支障はないものと認める」と答申することとしてよいか。（異議なし）

続いて、自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、事務局に資料 No. 1 の説明を求める。

【桐山班長】

資料 No. 1 を基に説明。

10 月 30 日（木）に開催した「令和 7 年度 第 1 回中郷区公共交通懇話会」では、「さくら号」については、実施の状況を見守ることとし、中郷区まちづくり振興会へ運営を一任することを確認した。

降雪期を迎え、中学生保護者からまちづくり振興会へ中学生の登校時に「さくら号」を利用できないかとの要望があった。まちづくり振興会では中学校や保護者との協議を進め、運行を実施の方向で検討中。

【岡田委員】

まちづくり振興会としては、中学校保護者からの要望について、運行の対象となる岡沢町内会と片貝町内会の中学生の人数が 1 便で乗車可能な人数より多いことが課題。運行時間や運行ルートなどを検討し、利用しやすい運行を目指していく。

【竹内会長】

中学生保護者からの問い合わせは、特定の町内会からのものなのか、幅広い町内会から出てきているのか。

【桐山班長】

まちづくり振興会へ寄せられた問合せは、岡沢町内会の保護者からのみと聞いている。

【竹内会長】

中学生の登校時の「さくら号」の運行に関する検討の経過については、地域協議会にも情報共有していただきたい。一部町内会の中学生に対する運行を始めると、その他の町内会で要望があった場合も受入れが必要になることが危惧される。そこに対応できるか慎重に判断する必要がある。

次に、「子どもの い〜場所開設事業」について、事務局に資料 No. 2 の説明を求める。

【更山主事】

資料 No. 2 を基に説明。

11 月 17 日（月）に中郷総合体育館で実施した第 3 回「子どもの い〜場所開設事業」には、35 名の参加があった。

12月17日（水）に中郷総合体育館で第4回「子どもの い～場所開設事業」を実施予定。36名の参加申込みがある。参加人数が多く、開設時間が長くなるため、まちづくり振興会では、見守り者を1人追加するよう調整している。

【陸川委員】

参加人数が当初の見込みよりも多くなっている。送迎に時間がかかることが課題になっている。参加人数が36名を超えると、レンタル車両と「さくら号」を利用しても2往復で足りなくなる。まちづくり振興会所有の軽自動車も待機しながら対応していきたい。会場から自宅までの送迎についてもルートを工夫して行っていきたい。

【竹内会長】

「こ食」事業のように30名以上の子どもたちで何か1つのことをする場合は、見守り者が3名程度いればよいが、「子どもの い～場所開設事業」のように、それぞれ自由に過ごしている場合は、見守り者が不足してくることが想定できる。また、子どもたちと顔見知りになってくると、馴れ合いによるヒューマンエラーが起こる可能性がある。子どもたちが安全に過ごすことができるように、まちづくり振興会と連携しながら事業内容の検討を行えるとよい。

【陸川副会長】

参加人数が多くなるということは、子どもたちが楽しく過ごせている証拠だと思う。継続していけばもっと大きな事業になるのではないかと感じている。引き続き大きなトラブルが起きないように実施していただきたい。

【竹内会長】

次回の地域協議会から、まちづくりワークショップに重点を置くため、「さくら号の運行状況」と「子どもの い～場所開設事業実施報告」は資料配布のみとしてよいか。（異議なし）

資料配布だけでは伝わらない部分については、随時情報共有をさせていただく。また、緊急で検討が必要なことがあれば、地域協議会に限らず、話し合いをさせていただければと思う。「さくら号の運行状況」と「子どもの い～場所開設事業実施報告」について検討事項や質問がある場合は、事務局に連絡いただきたい。

以上で協議を終了とする。その他、質問・意見はあるか。

【岡田委員】

まちづくり振興会が主催の「令和8年 新年を祝う会」の案内文書を配布させていただいた。ぜひご参加いただきたい。

【竹内会長】

以上で本日の地域協議会は終了とする。

## 9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165) E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。